

令和4年度 英語学習実施状況について

金沢市立栗崎小学校

①小学6年生 英語学習についてのアンケート(令和5年1月実施)

(%)

		そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	そう思わない	無回答
問1	英語の勉強が好きだ。	40.0	42.0	12.0	6.0	0
問2	英語の勉強は大切だ。	81.0	13.0	4.0	2.0	0
問3	ショートタイムの時間は英語の勉強に役立っている。	65.0	31.0	4.0	0.0	0
問4	英語の授業の内容が分かる。	65.0	31.0	2.0	2.0	0
問5	先生や友達に英語で質問することができる。	31.0	38.0	25.0	6.0	0.0
問6	先生や友達の英語の質問に英語で答えることができる。	29.0	56.0	13.0	2.0	0.0
問7	アルファベットの大きい文字が書ける。	85.0	15.0	0.0	0.0	0.0
問8	アルファベットの小さい文字が書ける。	79.0	21.0	0.0	0.0	0.0
問9	教科書やピクチャーディクショナリーの単語や英文を書き写すことができる。	73.0	17.0	10.0	0.0	0.0
問10	教科書の単語や英文を読むことができる。	42.0	37.0	17.0	4.0	0.0

②指導改善の具体策

- ・アルファベットの読み書きは、英語学習の基礎となるため、より多くの児童が自信をもって書けるようにしたい。そのために、学年が上がってもアルファベットを練習する時間や復習する時間を設ける。
- ・単語や英文を読むことに苦手意識がある児童が多い。単語は、言いにくい単語や難しい単語を児童の様子から見取り、英語インストラクターに続いて言う練習をくり返し行っていく。英文は、区切って読む⇒つなげて読むというスモールステップで読めるようにしていく。
- ・英語での質問や言語活動では、文型の意味や使う場面などを捉えたいうえでくり返し声に出し、活動に入るようにしていく。

③学校関係者評価

- ・「アルファベットが書ける」の項目で高評価となっているのは良かった。少しずつ、学んだことを英語で表現できるようになっているので、更に書くことへの抵抗をなくしていけると良い。
- ・インターネットを使って、海外の児童との交流(姉妹都市)等があると、コミュニケーションにおける英語の必要感を感じ、学習意欲をもたせることができるのではないかと考える。実際に英語を使う場面を設定できると良い。
- ・英語での質問や対話への苦手意識は、教材が関係している可能性もあると考える。教材の特性を考慮し、くり返し言語活動を取り入れることで、英語に親しみ、楽しく授業を行えると良い。